

おおぞら 議会だより

CONTENTS

9月定例会

東藻琴幼稚園等解体工事費を追加補正2

議員3名が一般質問4

①上地議員 防災の取り組みについて ほか

②三條議員 コミュニティ活動等について ほか

③後藤議員 大空高校の今後の方向性について

決算審査特別委員会9

所管事務調査を行ないました12



No.62

OZORA GIKAI DAYORI

【発行日】

令和3年(2021年)11月30日

大空に
人花心
育まると



北海道エアシステムと大空町が主催した『大空町ふるさと教育チャーター事業』が、大空高等学校の生徒を対象に開催されました。

オホーツク上空飛行体験や航空に関するお仕事講座などを受講し、女満別空港を身近に感じ、地域の魅力を探求できたのではないのでしょうか。

一般会計2億5,475万円追加補正

総額94億4,128万円に

令和3年
9月定例会
9月9日～10日

大空町議会9月定例会は、令和3年度一般会計などの補正予算
議会側議案を審議し、可決しました。

議案、人権擁護委員の推薦や条例改正議案、

大空高等学校寄宿舎整備に伴う東藻琴幼稚園等 解体工事に4千9百万円の追加補正

専決処分の承認

令和3年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分が報告され、承認しました。

農地一般事務費

三條議員
何の訴訟による委託料なのか伺う。

産業課
河川改修排水路整備工事の際、耕作橋の架け替えを行なわなかったことに対し、訴訟を起こされたものです。

人事案件

人権擁護委員に北島恵子氏が推薦され、適任と答申しました。



北島恵子氏

大空高等学校職員給与費

三條議員
当初、高等学校の運営費は、年間で約2億5千万円という説明を受けている。その後、幾度かにわたり増額補正があるが、今、どのような状況になっているのか。

生涯学習課
2億5千万円、うち町の持ち出し額(一般財源)は1億2千万円と説明しています。

今回、退職手当組合負担金867万8千円を追加補正しています。交付税措置もありますが、町の持ち出し額は1億3千万円程度になります。今後、経常経費が増えることはないと思います。

要望意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める要望意見書、安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための要望意見書、国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書、

計画の策定・見直し

大空町過疎地域持続的発展市町村計画の策定、大空町都市計画マスタープランの見直しについて、可決しました。



事務の委託

緑地区小水力発電施設の維持管理の事務の一部を清里町に委託することについて、可決しました。



建設中の小水力発電施設

条例の一部改正

大空町情報公開条例など3条例の一部改正について、可決しました。

補正予算

令和3年度一般会計のほか、5特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

交通安全対策費

三條議員
高齢者運転免許自主返納報奨金30件の追加について、返納者の状況は。また、この事業はいつまで続ける予定なのか伺う。

住民課長
75歳以上の方が対象で、令和3年度は現時点で20名の返納があり、農村地区の方が6名、市街地区の方が14名です。

報奨金制度は令和2年度から開始しており、令和7年3月31日までと要綱で定めています。



保健衛生諸負担金

三條議員
網走厚生病院脳神経外科医療体制整備事業負担金の追加補正について、内容を伺う。

福祉課長
斜網地域1市4町で、網走厚生病院に脳神経外科の開設をお願いし、運営費の負担をすることにしています。過日、昨年度の収支報告(6,737万9千円の赤字)があり、定めている割合に応じ、508万1千円を大空町が負担するものです。



芝桜の湯(芝桜公園内)

三條議員
温泉施設給水工事の内容を伺う。

藻琴山温泉芝桜公園管理運営費

総合支所長
水質検査の結果、レジオネラ菌が検出されました。滅菌処理していない井戸水を給水タンクにためた段階で菌が増殖していると見込まれるため、井戸水の使用をやめ、水道水に切り替えるものです。

専決処分の報告

町有車両に起因して発生した物損事故の和解及び損害賠償の額を定めることについて、専決処分した報告がありました。

教育委員会の活動報告

令和2年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検、評価について、報告がありました。

健全化判断

令和2年度大空町の健全化判断比率及び資金不足比率について、報告がありました。

例月出納検査報告

令和3年5月から7月までの各会計の現金の出納状況及び基金の状況について、検査実施結果の報告がありました。

女満別空港利用促進事業負担金などに 3千3百81万円を追加補正

10月19日に開催した大空町議会第3回臨時会では、条例改正、一般会計補正予算を審議し、可決しました。

条例の一部改正

大空町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について、可決しました。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算について審議し、可決しました。

三條議員
ルール式散水機維持管理事業

Q 54台分の修理費ということだが、どのような不具合が生じたのか伺う。
また、干ばつにより、保有している89台のうち84台を貸出している。もう少し台数を整備する必要があるのではないか。

三條議員
散水ノズルの不具合や油圧計の故障など、修繕内容は多岐にわたります。
増台については、女満別水利組合と協議して追加導入を図り、令和6年度から散水できるように進めていきたいと思えます。

Q 女満別空港利用促進事業負担金の内容を伺う。

三條議員
空港利用拡大のため、感染リスクを低減したうえで旅行意欲の向上を促すことを目的とし、女満別空港発着のツアー造成、催行する旅行事業者に対して支援を行なうものです。



付加価値アイデアによる旅行者への特典を奨励

一般質問



うえち ふみたか
上地史隆 議員

息子が発熱し、病院にかかりました。コロナ禍ということもあり、車に待機し電話にてやりとりを行い診察してもらいました。この時期は体調を崩すことも多いので、皆さんも気を付けてください。

個別避難計画を作成しているのか

町長 ▼ 避難行動要支援者全員の計画策定を目指したい

問 災害は身近なものであり、いつ発生するか分からない。万が一に備え、我が町はどのような防災の取り組みを行っているのか伺う。

町長 災害発生が予測される場合、気象台や関係機関と連携をし、事前の情報収集と警戒にあたっていきます。過去の教訓から対策本部を設置する役場庁舎に非常用電源を整備しました。新型コロナウイルス対策も必要となり、昨年10月には感染症を踏まえた避難所の設営訓練を実施しました。感染防止資材、衛生消耗品の備蓄も増強しました。

また、本年7月、B & G財団と防災体制づくりについて協定を締結しました。



B & G財団との協定書調印式

現在、防災倉庫を建設しており、資機材を整備します。海洋センターを活用した避難所機能の拡充、防災ボランティアの育成なども図っていくこととしています。

なお、8月には自主防災組織が町第1自治会で設立されました。地域の防災を支える、そして共助精神に基づく自発的

な活動を期待し、側面から活動を支援したいと思っています。

現在、国と共同で河川防災ステーションを整備しており、緊急対応用の資材や車両などが整備、配置される予定です。

問 町内には福祉避難所を含めて、指定の避難所が20力所あるが、収容人数、収容スペースの見直しを図る必要はないか。

町長 避難所は、町民全員が避難すると当然足りなく、親戚や友人宅に避難する分散避難という選択肢についても、町民にお伝えしていきたいと考えています。

高年齢や障がいのある方は、避難行動要支援者に該当し、対象者386人のうち231人は、すでに個別計画を策定しており、すべての方の計画策定を目指したいと考えています。

問 町内には福祉避難所を含めて、指定の避難所が20力所あるが、収容人数、収容スペースの見直しを図る必要はないか。

町長 避難所は、町民全員が避難すると当然足りなく、親戚や友人宅に避難する分散避難という選択肢についても、町民にお伝えしていきたいと考えています。

高年齢や障がいのある方は、避難行動要支援者に該当し、対象者386人のうち231人は、すでに個別計画を策定しており、すべての方の計画策定を目指したいと考えています。

ています。

地域防災組織の設立については、さらに皆様にご協力をいただくよう声掛けしたいと思っております。

自治体間の協力は、定住自立圏を形成する網走市のほか、稲城市、氷川町、北海道開発局、自衛隊、民間団体など、計17団体と協定を締結しています。受援計画をまとめるところまでは予定していませんが、資機材の調達や人的支援など、常に連携をとりながら対応したいと考えています。

問 災害時に課題となるのが情報であり、一刻と変化する情報を、どのように地域住民の方に迅速に正確に伝えるのか伺う。

また、このことを増強させるために、現在、行政情報を発信するための安心生活支援システムを構築しています。

子どものコロナ感染者が発生したら

教育長 ▼ 感染が拡大しないように対策を講じる

問 新型コロナウイルスの感染急拡大で子どもの感染が増え、子どもを介して家庭に感染が広がる事例もあり、夏休みの延長や分散登校を決めた自治体もある。

大空町においても、子どもたちは新型コロナウイルスの脅威にさらされているが、教育の現場ではどのような感染対策を行っているのか伺う。

教員 国が作成した新型コロナウイルスに関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」には、基本的な感染症対策、具体的な感染症予防対策、感染が広がった場合の対応などが示されており、町では本マニュアルに基づき、地域の感染状況を把握

しながら感染症対策に取り組んでいます。

コロナの疑いがあり学年閉鎖などになる場合には、保護者にメールをいただくが、その後には終息したのか、どのような対応をしたのかなど、もう少し周知をしてはどうか。

教員 大空町に対する北海道からのコロナ感染情報は、事案が発生した都度情報提供があるものの、プライバシー保護の観点から町内における感染者発生数のみであり、住所、氏名、年齢、性別、職業などは一切提供されません。

保護者からの情報が唯一となっている現状では、教育委員会として詳細を

把握することに限界があり、当事者の承諾が得られる範囲で最小限の情報提供を今後も行いたいと考えています。

問 長期間の休校となった場合は、学習機会が奪われてしまうが、オンライン学習を取り組める環境、体制になっているのか伺う。

昨年度、1人1台の端末を一斉配置しました。現在は教職員の研修を精力的に進めながら、徐々にタブレットを活用した授業に取り組んでいます。

今年度に入り、コロナの影響による児童、生徒の出席停止事案が発生しています。タブレットを活用したりモーターでの学

習支援に取り組む必要があると考えており、すでに一部の学校では試行的にオンライン学習指導の実践に取り組んでいます。一斉のオンライン授業に関しては、運用や指導の課題を検証しながら、活用の拡大を図りたいと考えています。

問 国が9月上旬に全国の小中学校、幼稚園に抗原検査キットを配布すると報道があったが、通知は来ているのか。

大空町には、幼稚園、小中学校に40回分、大空高校に100回分

が配布されることになり、大空高校には配布済みとなっています。

基本的には教職員が使用することを国は想定しており、出勤後に発熱やせきなどの症状が見られ、直ちに医療機関を受診できない場合に使用するものと伺っています。



国から配布された抗原検査キット

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆ 定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆ 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

12月定例会は、**12月21日(火)**から開かれる予定です。

※新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用・手指の消毒をお願いします。

一般質問



三條幸夫 議員
さんじょうゆきお

日頃、町民の皆さんからの課題を拾いあげて、少しでも改善されるよう執行機関に一般質問等させていただきます。

空き家を自治会活動の拠点として活用できないか

町長▼自治会から設置要望等は届いていない

問 コミュニティ活動の現況、課題、今後の取り組みについて伺う。
自治会活動が成り立たなくなっている小規模の自治会が存在し、さまざまな課題を抱えていることを町はどこまで把握しているのか。取り組みが必要とされているのか。

町長 町内には48の自治会があり、花いっぱい運動、健康づくり、交通安全、防犯、防災、スポーツ交流、そして高齢者や女性・青少年の交流育成事業など、幅広く



自治会対抗で開催された町民運動会（平成27年）

活動されている実態があります。しかし、世帯数の減少、高齢化などの理由により、活動が縮小しているという状況も伝えられています。
大空町発足当初から、積極的な自治会活動を進めるには自治会の再編も

必要ではないかと、さまざまな機会に協議を促してきました。平成27年度には、具体的な規模として15世帯未満の自治会を対象に検討をお願いした経過がありますが、単自治会で統合するという意思表示がないことから、

再編の議論が進んでこなかった状況にあります。現在は、再編について町から提案することはせず、自治会から相談があれば対応するというところから進めています。
空き家等の活用ですが、女満別市街地区には公民館や会館はなく、各自治会は、学校や研修会館などの公共施設を活用し、活動されています。
現在、市街地区の自治会から町に対して、空き家を活用したいといった要望は届いておらず、どう対応していくか、まだ十分検討されていない状況です。

町長 自治会の中のリーダーを育てていくことは、行政の役割でもあると同時に、自治会なり自治会連合会としても取り組みなければならぬことだと考えています。

育成、自治会活動を行ないやすくする環境整備等は、行政がもっと関わりを持つて対策を講じていくことが必要ではないか。また、地域づくりを担うためには、活動の拠点がどうしても必要だと思ふ。自治会の中に、誰でも気軽に集える場所があれば、高齢者の見守りや自主的防災活動への取り組みなど、もっと地域住民の役割等を認識し、活動が活発化されていくと思うので、支援をお願いしたい。

また、自治会の活動拠点については、例えば、地域の中に空き家が存在し、それを買つ場合、借りる場合に対する町としての支援措置などは、考えてもよいのではないかと思っています。もし、そういう方向でということであれば、先進地の市町村の事例なども参考にしながら、お諮りしたいと思います。

大空町の自治会数（加入世帯数別）

加入世帯数	自治会数
10世帯未満	2自治会
10～19世帯	8自治会
20～29世帯	11自治会
30～49世帯	10自治会
50～99世帯	11自治会
100世帯以上	6自治会

行政サービスの最適化、町民満足度の向上に向け努力を

町長▼この町を持続的に運営していくため、行政改革に取り組む

問 行政改革について伺う。
第3次大空町行政改革大綱では、量の改革と質の改革の両立、行政サービスの最適化と町民満足度の向上とし、4つの柱で行政推進計画を立てて取り組んでいられると思うが、進捗状況と課題、次期計画のスケジュールと新たな検討課題について伺う。

町長 行政改革は、地方自治法の中に規定されている住民の福祉の増進に、最小の経費で最大の効果を上げること。組織及び運営の合理化に努めること等、避けては通れない取り組みと認識しています。

町では、平成19年に第1次、24年に第2次、29年に第3次の行政改革大綱を策定しています。
第1次では、事務事業の見直し、職員数の削減、使用料・手数料を見直すためのルールづくり、指定管理者制度の推進などに取り組んでまいりました。
第2次では、町民主体の自治実現を図るため、自治基本条例の制定に重きを置いてまいりました。
第3次では、行政サービスの最適化と町民満足度の向上を目的に据え、「多様な主体との協働」、「事務事業改善による行政サービスの質の向上」、「行政経営基盤の強化と機能的な組織編制」、「財政運営の適正管理の推進」の4つの柱を立て、24の実施項目を定めて取り組んでいます。【第3次行政改革の進捗状況は、表のとおり】

第3次大空町行政改革推進計画の主な進捗状況

- ◆多様な主体との協働
 - ・広報誌のほか、FMあばしりや地デジを活用した広報活動を実施
 - ・新たな情報配信システムを構築中
- ◆事務事業改善による行政サービスの質の向上
 - ・高度通信基盤整備により、町全域で光ブロードバンドサービスが利用可能に
- ◆行政経営基盤の強化と機能的な組織編制
 - ・職員定員適正化の進行管理を継続実施
 - ・農業担い手センターを産業課に移管、移住・定住支援室の設置、幼児教育の認定申請等を福祉課に移管
- ◆財政運営の適正管理の推進
 - ・公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の更新や統廃合を検討中

行政改革を進めていかなければならない理由は、人口減少が大きく起因していると感じています。人口減少が人材の不足を引き起こしている一方、ICTや人工知能といった技術革新が進んでいくものと思われまます。人口減少の中で持続可能なまちづくりを進めていくためには、好むと好まざるとに関わらず、行政改革は欠かすことので

きないものであり、適宜見直しや新しい発想なども取り入れ、鋭意取り組んでいきます。
持続可能な行政運営を行なっていくための新たな課題を踏まえ、令和4年2月頃を目標に第4次大空町行政改革大綱及び行政改革推進計画の決定を考えています。

問 行政改革は、なかなか難しい部分もあると思うが、行政サービスの最適化と町民の満足度の向上に向けて、さらなる努力を重ねていただきたい。

町長 行政改革は、歳出の削減であるとか、場合によっては職員数の



行政改革にはさらなる努力を

削減、また、事業の取り止め、使用料や手数料の値上げにも繋がりが、町民の皆さんの痛みも求めなければならぬような項目がたくさんあります。課題もたくさんありますが、将来、この町を持続的に運営していくため、行政改革に取り組んでいきます。

一般質問



ごとう しのぶ 議員
後藤 忍

オープンキャンパスには、道内外から66名もの生徒に参加いただいたようです。来年度のさらなる飛躍に期待したいです。

町民が高校をサポートする 地域支援組織の検討を

教育長 ▼ しっかりと支える組織が必要であると思っている

問 大空高校開校から現在までの運営状況を伺う。

教長 大空高校は、町立の全日制総合学科として新たなスタートを切り、道内外から29名の新生を迎え、学校運営を進めてきました。しかし、コロナの猛威は凄まじく、学校休校や販売会の中止などが余儀なくされましたが、そのような中でも生徒1人1人の端末貸与やICT環境をフル活用し、学校も総力を挙げ、生徒の学習機会を喪失することのないよう教育活動に取り組んでいます。

また、1年生と2、3年生は、カリキュラムが異なり、キャンパスも東藻琴と女満別に分かれて

いますが、生徒会活動や学校祭の準備などにICT機器を活用することで生徒同士の交流が積極的に図られ、学校としての一体感が醸成されつつあります。

問 大空高校寄宿舎整備事業の方向性について伺う。

教長 東藻琴寄宿舎の老朽化を踏まえ、改築に向け調査設計業務を実施しています。

課外活動では、生徒の主体性を尊重するため、既存の部活動以外にも同好会からスタートできる仕組みをつくり、同好会誕生に結びつけようと意欲的に活動を展開しています。

新しい寄宿舎の整備は、単に老朽化対策や生活の利便性を向上するだけではなく、地域の方々や道内外で活躍するさまざまな人材と高校との接点の機会をつくり、双方が学び合いながら地域の活性化につなげることを目的とした、学びと交流の機能を併せ持った拠点施設として考えています。



建替を検討している大空高校東藻琴寄宿舎

問 コミュニティ・スクールの導入について伺う。

大空町第2次総合戦略では、地域を支える人づくりの観点から大空高校を地域振興の核と位置づけており、地域と一体となって、人づくり、まちづくりを進めていくこととしています。

問 寄宿舎整備も含め、広く意見を聞き、町民が高校をサポートする地域支援組織を検討いただきたい。

教長 大空高校生の3年間をしっかりと支える地域支援組織が必要であると思っています。コミュニティ・スクールが学校経営や教育活動内容を定めるプランニングの支援組織であるのに対して、

町では、令和2年度に町内小中学校に設置し、学校と地域間における情報や課題の共有化が進められています。大空高校においても、高校創設の趣旨である地域とともにつくる学校を実現するため、導入に向けた準備を進めます。



コミュニティ・スクールとは

地域とともにある学校づくりを進めるため、保護者や地域住民が参画し、学校の教育目標や経営方針などを協議する場として学校運営協議会が設置され、この学校運営協議会を導入した学校が「コミュニティ・スクール」と呼ばれています。

各会計決算の質疑応答

★一般会計★

〔歳入〕

軽自動車税 〔2,840万円〕

二条委員 軽自動車等の登録台数を伺う。

住民課長 原動機付自転車、軽自動車、農耕作業車等、合計で5,803台が登録されています。

ゴルフ場利用税交付金 〔283万円〕

二条委員 交付金の内訳を伺う。

住民課長 ゴルフ場利用税(400円)の10分の7が町に交付されるもので、令和2年度は1万92人(課税対象)が利用されています。

合同納骨塚使用料 〔9万円〕

二条委員 これまでの利用件数を伺う。

住民課長 15体が納骨され、生前予約が8件あります。

証明手数料107万円
後藤委員 マイナンバーカードの発行実績と併せ、発行実績向上のためにどのような取り組みを行なったのか伺う。

福祉課参事 交付枚数は、本年9月30日現在で1,743枚、交付率は25.37%です。国で実施したマイナポイントの発行や特例給付金のオンライン申請に必要なことから、交付率が上がったものと考えています。

一般寄附金

〔2億400万円〕

上地委員 ふるさと応援寄附金の使途を伺う。

住民課長 寄附金の使途には、未来を担う子どもたちを育む事業、高齢者がいきいきと暮らせる事業などがあり、幼稚園や学校の備品購入費、高齢者移動支援事業の財源などに使用しています。

不用品物売払代

〔857万円〕

二条委員 どのような物品を売払いたのか伺う。

総務課長 公用車、除雪ドローザ、除雪ブレードなどを売払っています。



ふるさと応援寄附金の一部を財源として購入したフットサルゴール(女満別中学校)

長期的視野に立った 財政運営を検証

～各会計総額138億円の事業の取組みを審議～

令和2年度決算

決算審査特別委員会を開催し、令和2年度の決算を認定

10月19日、決算審査特別委員会を開催しました。

令和2年度の一般会計、特別会計を合算した決算額は、歳入140億7,672万円、歳出137億9,232万円で、形式収支は2億8,440万円の黒字となりました。

一般会計の歳入の主なもの、地方交付税や国、北海道からの補助金など依存財源が全体の80.7%を占め、自主財源である町税や使用料などは19.3%であり、町財政の大半を国や北海道からのお金に頼っている状況にあります。

歳出では、人件費や公債費、扶助費の義務的経費が全体の27.9%を占め、健全な町財政運営のため、将来を見据えた長期的で計画的な財政運営が今後とも必要です。

決算審査特別委員会では、令和2年度の予算執行及び事業運営の状況を審議し、すべて原案のとおり認定しました。

【歳出】

広報広聴事業

1,432万円

二條委員 ふれあい意見箱への投函は年間何件あり、どういった取り扱いはしているのか伺う。

総務課参事

公共施設の修繕、プレミアム商品券に関する事など、44件の意見をいただきました。

基本的には質問いただいた方に直接回答していますが、町民に広く周知すべきものは、町広報誌に質問と回答を掲載しています。



町内10箇所に設置のふれあい意見箱

元気づくり応援事業補助金

60万円

二條委員 どのような事業に補助したのか伺う。

総務課参事

YOSA KOONソールンを通じて地域づくり、有機栽培力ポチャの加工品開発、コンサート公演の開催に交際しています。

移住・定住対策事業

353万円

後藤委員 移住相談等の動向を伺う。

移住・定住支援室長

26件の相談があり、岐阜県から1名、埼玉県から1名が移住しています。アフターコロナに向け、移住フェア等に参加し、生の声を聞きながら制度的なことを考えていきたいと思っています。

地域情報通信基盤整備推進事業

4億2,387万円

原本委員 現時点で何世帯が回線に接続しているのか伺う。

また、児童生徒がリモート授業をできる体制になっているのか伺う。

総務課長

町民と情報通信事業者の個々の契約であり、詳細な状況は把握できていません。

生涯学習課長

光回線整備の補助は、昨年2件、今年度25件程度の申込みに留まっています。通信費用は各家庭の負担となることから、なかなか整備に至っていないことも事実です。

地域職業紹介事業

96万円

二條委員 農家アルバイトは年間のどのくらい回転しているのか。

また、斡旋して事故があった場合の対応について伺う。

移住・定住支援室長

農家22戸の利用があり、672名を紹介しました。求人票受理の際に労災等の加入状況を確認しています。



自治会活動支援交付金

367万円

齋藤委員

自治会は役員が毎年変わるため、どのような活動を行なえばいいのかとよく聞かれるが、行政側で説明をしているのか伺う。

住民課長

連合会や各地区の総会の際に説明しています。コロナの影響で従来の活動ができない

事情もあり、行政側も活動に関して、ともに検討させていただいています。

高齢者移動支援事業

1,113万円

松田委員 コロナ対策で追加交付した福祉タクシー券の執行率を伺う。

また、この事業の成果を今後しっかりと検証願いたい。

福祉課参事

女満別地区が交付率48.6%、利用率62.5%、東藻琴地区が交付率52.8%、利用率59.2%でした。事業の検証は内部で協議し、対策を検討していきます。

地域福祉センター管理費

274万円

二條委員

事務所内のホールがあまり利用されていないが、今後に向けて検討していることがあるか伺う。

福祉課参事

コロナ収束により事業が実施できる状況になれば、陶芸サークルやちあふるるの作品展、地域コミュニケーションの場所として活用を考慮しています。

保健衛生一般事務費

412万円

後藤委員 大空健康ダイヤルの利用件数を伺う。

また、タブレット端末を活用した安心生活支援事業と連携し、皆さんが安心して生活できるように進めていただきたい。

福祉課長

小児科系、内科系など多岐にわたる相談が283件ありまして。

情報技術の活用、人と対話をする大切さも意識しながら、よい方向に向けて検討していきます。

保健衛生諸負担金

602万円

土地委員 網走厚生病院脳神経外科整備事業として212万円の負担をしているが、大空町民の受診は、どの程度あるのか伺う。

福祉課長

令和2年度は、入院患者数が42人、外来患者数が176人、救急車受入件数が24件となっております。

医療・介護従事者等確保事業

184万円

松田委員

補助金対象者の内訳を伺う。

福祉課長

医療等関係施設に継続して1年間就業している方(女満別地区の病院3名、福祉施設4名、東藻琴地区の福祉施設4名)11名が対象となりました。

人材不足により勤務体制やサービスに影響が出ることも考えられるので、そういったところで行政としてサポートできるのか検討していきます。

大空健康ダイヤル24
大空町にお住まいのみなさんが相談できます

- けがや病気のとき
- 夜間に子どもが熱を出したとき
- 一人で悩んでいるとき
- 休日の当番病院を知りたいとき

0120-016-008
24時間年中無休/通話料相談料無料/携帯電話からでもつながります

★総括質疑★

新型コロナウイルス感染症対策事業について

齋藤委員 事業実施により、具体的にどのような効果があつたのか伺う。

福祉課長

ワクチン接種は、10月18日現在で2回目の接種率が89.4%となっております。大空町では、接種の日時、会場をあらかじめ設定して案内したことで、20代の2回目接種率も8割を超え、全国的にも高い接種率であると認識しています。



ワクチン集団接種会場

産業課長

プレミアム商品券事業や飲食店応援商品券事業、商工業持続化支援事業などを実施し、消費の喚起や事業継続のための支援につながったと考えています。

町長

管内の町村と比較し、多種多様な方策をとり、経済対策を打ってきました。しかし、町内で2件の事業所が閉鎖したことも事実であり、大変残念であると受け止めています。

新型コロナウイルス感染症対策の強化について

松田委員

コロナと共存共栄すると考えたとき、地域でどれだけ安心して暮らせるか、町外の人に安心して来てもらえるかがポイントになると思う。今以上の感染対策を強化すべきだと考えるが。

町長

今時点では総点検をしながら実施していますので、今後は施設整備の際、最初から感染防止対策ができるようなところを目指していかなければならぬと考えています。

地域の医療体制について

松田委員

今回、コロナで地域医療の脆さが露呈したが、今後の体制の整え方について伺う。

町長

ひとつの町だけではすべての医療を担うことはできないと改め



町外者の利用も多いパークゴルフ場

公共施設の取扱いについて

松田委員

緊急事態宣言に伴う公共施設の閉鎖などは、各市町村共通の認識で連携を図っていたきたい。

町長

大空町民が北見や網走などに出向き、公共施設を利用されている一方で、北見市民や網走市民が本町のパークゴルフ場を利用されています。お互いの公共施設の利用のあり方については、各首長と議論を深めていきたいと思っています。

水産業振興事業

255万円

土地委員

網走湖の資源調査により、どのようなことが分かったのか伺う。

産業課長

湖の低塩分化により、シジミの産卵があまり行われていない状況にあり、シジミの種苗を放流することで資源維持の一助としました。ワカサギ、シラウオは、資源量及びサイズの予測により、漁獲量の規制を行ない、次年度の親魚を



多くの観客が訪れた芝桜まつりのステージイベント (平成30年)

観光振興一般事務費

251万円

二條委員

サイクルアドベンチャーオホーツク推進協議会負担金100万円の内容を伺う。

しょうらい みす まちの将来を見据えて

～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管

CHECK 議会でチェック! 事務調査を実施しました～

7月26日に総務厚生常任委員会、8月24日に産業建設文教常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

産業建設文教常任委員会



近藤議長 松岡委員 齋藤委員 深川委員 後藤委員 原本委員長
田中副委員長 (写真撮影のためマスクを外しています)

総務厚生常任委員会



近藤議長 松田委員 三條委員 品田委員 沢出委員長 上地副委員長
(写真撮影のためマスクを外しています)



① 感染対策を講じて運営している
「女満別農業構造改善センター」

①利用状況と管理運営について【女満別農業構造改善センター】

- ・コロナ禍及びレジオネラ菌の検出に伴う休業により、利用者が減少しているとの説明を受けた。
- ・レジオネラ菌対策の状況を確認した。



② 農業実習生、おとし暮らしで利用されている
「新規就農者技術習得管理施設」

②利用状況と管理運営について

【メルヘン公園新規就農者技術習得管理施設】

- ・農業実習者の利用より、移住定住促進のおとし暮らしの利用割合が多い状況にあるとの説明を受けた。
- ・利用者の利便性向上のため、ネットワーク環境を拡充するWI-FIの整備状況を確認した。



③ 女満別地区の市街、湖南、低台へ
水道水を供給している「昭和浄水場」

③施設の状況と水質改善対策について【昭和浄水場】

- ・取水した井戸水を2つの設備で浄水処理しており、処理過程の違いにより一部に塩素臭が感じられるため、処理過程を同じくし水質の改善を図ることについて説明を受けた。



⑤ 厳選された郷土資料を展示している
「東藻琴生涯学習センター郷土資料室」

④施設状況について【東藻琴地区スクールバス車庫】

- ・必要な修繕等を行い、車庫の利用に支障をきたさないよう維持管理に努められたい。

⑤郷土資料室の整備について【東藻琴生涯学習センター】

- ・3か所に分散している資料から厳選されたものを展示しており、子どもたちにもわかりやすいよう工夫されていたことを確認した。

⑥利用状況と管理運営について【ひがしもこと乳酪館】

- ・コロナ禍で、利用者、売り上げが減少しているとの説明を受けた。

⑦公園の運営及び管理状況について【ひがしもこと芝桜公園】

- ・オートキャンプ場の電源設備の整備状況を確認した。
- ・コガネムシ、ヒカリゴケが芝桜の生育に影響があるため、駆除、除草作業を行っているが、人員確保等の課題があるとの説明を受けた。ドローンを活用した対策の検討も必要である。



② 十分な広さの会議室がある
「地域福祉センター」

①開園後の状況について【認定こども園めまんべつ】

- ・開園時間の延長、3歳未満児の入園数の拡大、栄養士・看護師の配置、給食化などに取り組み、3歳未満児の保育サポート、アレルギー対策など慎重に対処しているほか、特別支援教育においても園内で議論して日常的に情報共有に努めており、保護者が安心して就労できるこども園として運営されていることを確認した。



③ 小型家電の搬入が増えている
「リサイクルセンター」

②社会福祉協議会移転の効果、今後の展開について【地域福祉センター】

- ・大勢が出席する会議にも対応可能なスペースがあり、地域コミュニティの場所として各種団体に周知し、活用の拡大を期待したい。

③管理運営状況について【リサイクルセンター】

- ・コロナ禍における外出機会の減少によるものなのか、古着や小型家電の処理量が増えているが、全体としては減少傾向にあり、施設の運営に影響は出ていないことを確認した。



④ 施設がきれいで利用者の評価が高い
「地域振興施設」

④コロナ禍における宿泊施設の経営状況について【地域振興施設】

- ・指定管理者の努力のほか、公的な財政支援、休業協力金、公共料金の減免と併せ、独自に金融機関から資金融資を受け財務基盤の強化を図るなど、健全経営に努めていることを確認した。

⑤施設、付帯設備の状況について【葬斎場】

- ・内装、外装ともに特に問題はないと思われるが、1号火葬炉は25年以上経過しているため、今後の保守点検には留意が必要であると感じた。また、2号火葬炉の火力調整が難しいということであり、改良に向けた検討が必要である。



⑤ 平成5年3月供用開始の
「葬斎場」

⑥用途廃止に伴う移転状況、廃止、解体スケジュールについて【公園団地、北一しらかば団地】

- ・移転費の優遇措置を実施しているが、新たな移転先の確保を含め、住宅施策の検討が必要であると感じた。

Voice 声 町民の

住みやすい

まちづくりを



は 羽 田 直 哉 さん
(有限会社三和建設 代表取締役社長)

弊社では、大空町を中心に新築、増改築、リフォームなど、住まいに関わる事業を営んでおります。

コロナ禍になり、巣ごもり需要、テレワークが増え、リフォームなどの要望や家族の時間を増やすための新築住宅の依頼などで建設業には追い風の中、一方では、木材高騰、物価の上昇など、いろいろな問題もあります。大空町には、リフォーム事業の補助金や新築の助成、

空き家バンクの助成など、いろいろな制度があります。まちに人が増えれば、商業・農業・建設業など活気が出て賑わうと思います。空港もあり、道東のアクセスの玄関でもある大空町のために、大空町役場と連携して補助金などを活用するためのPRを行ない、住みやすいまちづくりに貢献していきたい思いです。

なつかしの一枚



— ジャズ・フェスティバル'85 —

昭和60年7月、新女満別空港の開港を祝い、旧空港を舞台にオホーツク・ビッグ・サマー・フェア「ジャズ・フェスティバル'85」が開催されました。

炎天下の中、若者を中心に管内外から約8千人の聴衆が訪れた野外フェスは、ジャズの大家エルヴィン・ジョーンズのほか、日本を代表するジャズプレイヤーが6時間にわたって華やかな演奏を繰り広げ、最高の盛り上がりを見せたそうです。

食料品&日用生活品など

お買い物 代行サービス

好評につき
お客さま
拡大募集中!

【お買い物の流れ】

前日または当日の午前中に電話で申し込み→
当日午前中に商品注文→当日午後に商品到着

《ご利用料金》1回1,000円

香典のお届け、振込代行も承っております(1回500円)



まずはお電話下さい(平日9:00~17:00)
0120-04-2016

編集後記

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスにより商工業、農業、漁業等、町民の皆様は大きな影響を受けられていることと思いを。さらに、夏の高温少雨による農水産物の被害がある旨お聞きし、残念に思います。来年こそ新型コロナウイルスが収束し、町民の皆様にとって最良の年となりませう。広報委員一同願っています。

さて、議会日より第62号をお届けします。「議会だよりは読まれている?」、「議会広報の役目は:」、いつも議論になります。町民の皆様にご覧いただけ読みますので、ご意見等、お気軽に議会事務局か広報委員にお伝えいただければと思います。

(三條)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 近藤哲雄(発行責任者)
委員 長 深川 昇
委員 田中裕之
委員 三條幸夫
副委員長 上地史隆
委員 後藤 忍

今後ともよろしく願っています。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」
第62号

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

